

シャクヤク特報 No.2



JA 中野市シャクヤク部会
JA 中野市園芸課

いよいよ、シャクヤクが 4/12 に初出荷されました。露地の生育状況は昨年に比べてやや遅い状況です。今後、ハウスの作型は気温が高くなるため換気や、乾燥に注意し管理を行ってください。また、露地作型は凍霜害の対策を行い安定供給ができるよう取り組みをお願いします。

●露地作型 圃場整理

- (1) 前年の残茎が長く残る場合は灰色かび病の発生原因になるため地際から切り取り処分して下さい。
- (2) 除草剤を散布する場合、すでに萌芽しているため株元は避けて通路部分のみ除草剤用のノズルで散布。
10 当たり ザクサ液剤 300～500 ml 水量 100 l



前年の古い茎を短く切る
芽を傷めないように注意

●ハウス栽培の管理

◎春は強風被害が発生しやすいため、施設管理（ネットによる押え、ビニールたるみの修繕等）をおこなってください。

- (1) 萌芽始めから日中はハウスの換気を行い、25℃を超えないように管理し、夜間はあるべく温度を下げないように努めて下さい。
ただし、芽かき（側芽の整理）が終わって、霜が降りる心配が無ければ夜間も換気を行い、すすかび症状の抑制に努めてください。
また、雨の日でも風が入るように換気しましょう。
- (2) トンネル設置している場合は日中高温になるため換気を行うか、又は萌芽後 100cm 間隔に直径 10 cm 程度の穴を開けるようにして下さい。トンネルの除去時期はシャクヤクがトンネルに当たる直前に外しましょう。
- (3) 圃場が乾く場合は、伸長期と蕾の肥大期に計 2 回以上 1 株当たり 5 l 程度の灌水を行いましょう。



小トンネル作型
換気開始のタイミング

●防除等（展着剤加用する）

【無加温ハウス】

生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100l 当り 薬量 (ml, g)	10a 当り 散布量 (水)	対象病害虫
摘蕾後	ポリオキシシンAL 水溶剤 2,500 倍	40 g	300 l	灰色かび病
収穫 3 日前	アクタラ果粒水溶剤 2,000 倍 フルピカフロアブル 2,000 倍	50 g 50ml	300 l	灰色かび病 アブラムシ類

葉面散布

蕾の肥大のため 展葉期～摘蕾後 メリット赤 500 倍 2～3 回/5 日おき ※農薬混用可

【2 条簡易ハウス】

散布時期	生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100l 当り 薬量 (ml, g)	10a 当り 散布量 (水)	対象病害虫
4 月上旬	出蕾期	ゲッター水和剤 1,000 倍	100	200 l	灰色かび病

【小トンネル、露地】 露地は生育が遅れているため、ステージに合わせて防除を行いましょう。

散布時期	生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100l 当り 薬量 (ml, g)	10a 当り 散布量 (水)	対象病害虫
4 月中旬	萌芽期	オーソサイド水和剤 80 600 倍 オルトラン水和剤 1,500 倍	166 66	100 l	立枯病 アブラムシ類他
4 月下旬～5 月上旬	展葉期	ゲッター水和剤 1,000 倍	100	200 l	灰色かび病

裏面 すすかび対策・凍霜害対策➡

すすかび症対策防除

耕種的防除：換気を徹底し、風通しの悪い状況にならないように注意する。

生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a当り 散布量 (水)	対象病害虫
蕾肥大期～ 芽かき	【特別散布】 フルピカフロアブル 2,000 倍	50 ml	100 ℓ ※蕾部分を重点的に 防除	灰色かび病 (すすかび症)
摘蕾後	ポリオキシシン AL 水溶剤 2,500 倍	40g	100 ℓ	灰色かび病

凍霜害対策

露地作型において凍霜害の影響が心配されます。凍霜害による蕾の枯死、「がく割れ」の発生を抑制するために以下の対策を検討ください。

(1) 小トンネル設置

ダンポール等を用いてアーチを作り、被覆資材を張ってトンネル状に被覆を行う。1～1.5℃程度の保温効果があるため霜対策と、半促成となるため作業分散としても有効。



●設置方法

ダンポール（240 cm）を 1m 間隔でアーチ状に設置し、ビニールの裾が地面に垂れるように被覆して固定する。垂らした部分は重しを置くか、被覆の上からダンポールを設置し萌芽するまで固定しておく。

(2) 霜ガード

ゼオライトに肥料を添加した多孔質乾燥資材で農薬との混用可能。0～-1℃の弱い霜の場合は有効。

※-2℃以下の霜ではほぼ効果がない。

●使用方法

希釈倍率 50 倍 水量 100 ℓ / 10a
1 袋につき 50a 分

散布タイミング 霜予報の 前日～3 日前

※前日散布の場合気温が温かい時間に散布を行ってください。



●注意点

薬剤の汚れが目立つため、展葉期以降の散布は行わないようにしてください。
単剤散布の場合は展着剤は使用しなくてよいです。



お問い合わせ

【JA 中野市営農センター】

園芸課 山田：080-6998-0407